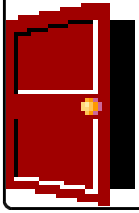


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No. 5

桑村小学校令和5年4月25日 文責 渡邊

読書通信No. 4では、「詩」の読書推せん文の3年生の作品を紹介しました。今回は、4年生と5年生の作品を紹介します。

第4学年 菅沼 莉桜さん

紹介したい詩 作者 北原 白秋

「山の月夜」

白かばのみきはしろくて、月の夜の風にひかるよ。

お手々うて、まどのこどもよ。白かばのみきはしろいよ。

ほおの葉のかげはひろくて、

月の夜の土にゆれるよ。

お手々うて、そとのこどもよ、ほおの葉のかげはひろいよ。

◆推せん文

すすめたい相手(校長先生へ)

この詩は、月がきれいな夜なのかなという気持ちになります。そして、自分も見たいなと思いました。夜、ベランダに出て、月を見たことを思い出しました。わたしたちはゆたかな自然にかこまれているんだなというのを教えてもらったみたいです。「月の夜の風にひかるよ」のところは、月にてられ風が光っているのではないかと思います。「お手々うて」は、手をたたき楽しくという作者の思いだと感じます。校長先生もぜひこの詩を読んでみてください。

※素敵な詩を紹介してくれてありがとう。とても神秘的なイメージを感じました。推せん文を読んだとき、莉桜さんの豊かな感性を感じることができました。詩からたくさんのことを想像することは大切なことですね。

第4学年 小澤 美桜さん

紹介したい詩 作者 不詳

「陸上」

失敗には意味がある その失敗をちゃんと受け止めて理解すれば

お前はもっと強くなれるんじゃないか？

だから 後悔なんかするな

◆推せん文

すすめたい相手(校長先生へ)

わたしはこの詩を読んで、(陸上の大会で負けても、くやしがらないでどうやったら速くなるのかを考えよう)と思いました。最初の「失敗には意味がある」の場面がわたしの心にずっととききました。なぜなら失敗は、あそんでいるときでも何でも、一度はぜったいにあることだからです。大切なのは、失敗の意味を自分できづくことだと思います。今年も陸上の大会があるから、大会で負けてもこうかいしないで、自分から負けた意味をさがしてみたいです。

※詩から美桜さんが感じたことはとても大切なことだと校長先生は思います。「失敗」は次につながるものですものね。これからもどんどんチャレンジしましょうね。

第4学年 佐藤 叶芽さん

紹介したい詩 作者 北原 白秋

「ひとつのことば」

ひとつのことばで けんかして ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭が下がり ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しくわらい ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばはそれぞれに ひとつのこころを もっている
きれいなことばは きれいな心 やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に ひとつのことばを美しく

◆推せん文

すすめたい相手(妹へ)

この詩を読んで、「ひとつのことば」は人の心をかえる力があることを知りました。もし、わたしがことばで人を悪い気持ちにかえようとしたら、この「ひとつのことば」を思い出して、気をつけて生活したいです。人の心はかんたんにかわってしまう。そして、ことばが人の心をよくしたり悪くしたりすることを知ることができました。

※とても大事なことを「詩」から感じましたね。言葉は相手を幸せな気分にもするし、悲しい気分にもさせるものです。叶芽さんのいうように気をつけて使うことが大切ですね。

第5学年 浅田 柚菜さん

紹介したい詩 作者 草野 心平

「春のうた」

ほつまぶしいな ほっうれしいな
みずは、つるつる かぜは、そよそよ。
ケルルンクック ああいいにおいだ
ケルルンクック ほっ いぬのふぐりがさいている
ほっ おおきなくもがうごいてくる
ケルルンクック ケルルンクック

◆推せん文

すすめたい相手(校長先生へ)

なぜこの詩を選んだかという、春は季節の中で入学式などのイベントが多く、それに桜がとてもきれいに咲くからです。校長先生はこの詩を知っているかもしれませんが、私はこの詩が好きで校長先生にすすめました。わたしが好きなところは「ほつまぶしいな」「ほっうれしいな」のところ。「ほつまぶしいな」と「ほっうれしいな」では、なんだかうれしく、ニコニコになれました。校長先生、この詩のようにみんながワクワクする桑村小学校がいいです。

※柚菜さんの推せん文は、始業式で全校児童のみんなに紹介させてもらいました。校長先生に素敵な詩を紹介してくれてありがとうございます。柚菜さんの言うように「みんながワクワクする桑村小学校」を創っていきましょうね。

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」(4月25日号)を読んでの感想

()年()